



森のようちえんはじまるよーの会「子ども渡し」

保護者全員で次々に子どもを抱っこ。みんなで育てる気持ちを確認していました。

議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 宮島歩美

- P 2～ 農業を核とした雇用の創出 町政の執行方針
- P 6～ 育てよう 生き抜く力 教育行政の執行方針
- P 9～ 人を大切にした信頼されるまちづくり(平成27年度予算審議)
- P 16～ 一般質問(4名)
- P 21 介護保険Q & A
- P 22 臨時会
- P 24 私のひとこと、くじゃくそうクイズ

第1回定例会

平成27年3月10日～17日

第1回定例会は、3月10日から8日間の会期をもって開催し、平成27年度の町政執行方針及び教育行政執行方針の報告を受けた後、4名の議員が一般質問を行い、町長の考えをたしました。

議事は、補正予算、条例の制定・改正及び平成27年度の7会計予算を審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。

また、1件の人事案件について同意し、会期を1日残し、3月16日に閉会しました。

雇用の創出

新規就農

「新たな対策」は

Q. 中村議員

新規就農者の技術習得に向け、新たな対策の具体案は何か。

A. 農業の研修施設や研究施設、農業技術指導員を年間雇用して研究するような内容です。

Q. 青野議員

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金は、いろいろな施策に取り組めること

になっている。

定住促進のための良好な生活環境の考えはあるか。

A. 良好な生活環境のための簡易給水施設にも取り組む考えです。

ほかの施策も農業者の方々と一緒に計画していきます。

Q. 農用地利用調整協議会や推進協議会の方々と協議をしながら将来のビジョンを作っていくけないか。

A. 小規模でもできる農地耕作条件改善事業も検討し、「人・農地プラン」と関連付けながら整備を進めて、安定的、合理的、効率的に営農できる体制の援助をしていきたい。

受入体制を早急に

Q. 藤澤議員

今後、離農者が増えていく現状では、後継者や新規就農者にどうやって魅力を感じさせるかが重要なこと。受け皿づくりを早急にしてはどうか。

力強く活力に満ちた産業

子育て環境の充実と地域福祉の推進

次代を担う人づくりと地域のつながり

誰もが暮らしやすい快適な生活環境

自立に向けた信頼の行政運営

平成27年度
まちづくりの方針

A. 新規就農のリスクをいかに低くするかが非常に大事です。生活面も含めて検討していきます。

地方創生の計画に組み込み、28年度から進めるよう努力したい。

Q. 中家議員

農業の担い手となる、新規就農者、後継者、高齢になっても頑張っている人など一緒に支援する考えは。

A. 今後の担い手は、法人化が主流になると思います。元気で現役として頑張っている人の技術継承の受け皿にも法人がなっていきたいように支援をしていきたい。

Q. 法人、個人の多様な担い手がいることは、定住対策や生きがいを感じながら暮らせることで高齢者の福祉対策にもなるのでは。

A. 今、頑張っている現役の農家世代の方々にも協力をいただきながら、理想に近いように努力したい。

Q. 農業ビジョンは3年の目安で作るが、地方創生総合戦略の計画は1年。どのように関連つけるのか。

A. 農業施策にに応じて、計画を見直していく方法で考えています。

農業を核とした



条件不利地の対応は

Q. 植西議員

耕作条件不利地が残り、賃貸や売買にも支障がある。農地集積や農業経営上好ましくないが、解消するための考えは。

A. 国の新事業は事業費が少額でも使えるので検討をしていきます。地域や農業者とも打合せをして計画的、効率的に施工していきます。

米価下落の支援策は

Q. 辻本議員

米価が下落し収入が減少した場合、農家への支援策は考えているか。

A. 直接補てんすることは難しい。基盤整備、施設整備などに補助していく支援策を考えています。

鳥獣被害防止対策

Q. 大石議員

鳥獣被害防止対策活動事

業における、新たな緩衝帯整備の調査研究はどのような考えか。

A. 北成地域と知遠別地域の山際に緩衝帯を設けます。(緩衝帯については14ページ参照)

人口減対策

6次産業化支援を

Q. 近藤議員

農業の6次産業化を支援していくことで人口増、雇用増を考えるべきと思うが、意気込みは。

A. 長期的な子育て支援や教育に魅力がなければ人口は増えていかないと思います。

6次産業化は「オオカミの桃」や「鷹栖牛」、鷹栖米のななつぼし、ゆめぴりかをふるさと納税のお礼としてPRしており、評価は高まっています。

商品開発の研究をしていけば雇用の場も生まれると考えています。

雇用の創出

Q. 中村議員

地域の雇用環境の充実を目指すところがあるが、どういう方向で進めていくのか。

A. 企業を訪問して、災害や地震が少ないことの優位性をPRしています。

Q. 企業誘致活動の他に案はあるのか。

A. 農業や福祉を核として仕事の創出を求めていると考えています。

サテライトオフィス旭川市との差別化は

Q. 大石議員

サテライトオフィスには旭川市の職員が常駐している。差別化をどう図るのか。

A. 工業団地は面積が広く、インターチェンジに近いため、物流関係の企業に絞って誘致を進めたいと考えています。

首都圏ふるさと会を

Q. 青野議員

首都圏に鷹栖出身者がいると思うが、ふるさと会などの結成は。

A. 今までも結成の協議をした経過はありますが、既存のふるさと会は会員減少などで運営が厳しい状況です。

今後は首都圏在住者の情報をいただきながら、懇談できる場を作っていきたいと思っています。

町政の執行方針と教育行政執行方針は、広報たかす4月号と同時配布の「私たちのまちづくり」に掲載されていますので、合わせてご参照ください。

新規開業支援事業の見直しを 補助金の幅を広げる検討も

Q. 大石議員

地方創生計画の中で、新規開業支援事業を取り入れられないか。

A. 町内での消費活性化に積極的に取り組みたいと思えますし、魅力あるものを外部に発信して販売していくことも必要ですので、事業は継続していきます。

Q. 植西議員

町内の経済循環を継続するために、新規開業事業で店舗のリニューアルにも枠を広げられないか。

A. 昨年は実績がなかったが、リニューアルについても十分考えられるので、目的が達成できる補助金の検討も必要と考えています。

住宅建築支援事業の 窓口を明確に

Q. 中村議員

住宅建築支援事業の相談窓口にて専従の職員は置くのか。看板などは。

A. 相談窓口は総務企画課が担当しています。看板はありませんが、直接相談に来られた方には詳細な説明をしています。

Q. 坂根議員

役場の職員がもつと町内に住める方法を考えては。

A. 北野地域の定住促進用アパートに入居したり、家庭を持つている職員も住宅を新築し転入しました。町民の1人としてしっかりと町づくりにも取り組むよう指導します。

消防組織検討委員会

Q. 木下議員

消防団員の減少などの課題について話し合うため設置した消防組織検討委員会は単年度か。

また、災害時に消防団OBの協力を仰げないか。

A. 消防団の正副団長などの12名で組織し、単年度の設置です。

協力者が多いほど減災に

国保など

町民負担の適正化は

Q. 大石議員

今回の介護保険料や昨年の国民健康保険税が大幅な値上げになった。町民負担の適正化は、どう考えてい

つながるので、OBの方にも協力していただけるよう検討したい。

るか。

A. 低所得者に対しては減免の措置があります。介護予防や健康寿命を延ばす活動、認知症にならないための共助の部分も多くしながら、負担を抑制する努力をしています。



鷹栖消防出初式



笑顔あふれる世代間交流

笑顔を増やす まちづくりを

ノーマライゼーションの
精神を大切にしてい

防犯対策は

Q. 辻本議員

誰もが安心・安全に暮らせるための防犯の考えは、

ひきこもりの人たちの情報を持っているのか。

A. 防犯灯を調査して、照度の問題も含め検討していきます。

ひきこもりの方の人数は分かりませんが、社会福祉協議会に地域福祉コーディネーターを置いて、地域の中に入って課題を解決していく考えです。

介護予防

充実強化を

Q. 植西議員

人や社会に対して、役立ち感を持たせると、高齢者は心身ともに健康になると思うが、考えは。

A. 福祉については、公助・共助・自助の場面で役割があります。老人会での社会貢献活動や学校との交

流活動が生きがいにつながると思っています。

Q. 地域福祉コーディネーターに活躍してもらう場面は。

A. 地域に少人数でも気軽に集える場所を多く作り、ここにコーディネーターに入ってもらい楽しい生活を送る場面を作っていく考えです。

Q. 家庭、地域から町全体に笑顔を増やして、お金のからないまちづくり、人づくりをしていく考えは。

A. ノーマライゼーションの精神を大切にしたい、お互い様の精神が協働のまちづくりにつながると思っています。

信頼される 役場組織

Q. 木下議員

信頼される役場組織にするために、どう考えているのか。

A. 職員には現場第一主義を実践するように話しています。

Q. 坂根議員

総合教育会議とは。

A. 町長が責任者となり、教育委員と協議する会議です。



防犯灯

育てよう生き抜く力

Q & A



学力の課題

Q. 近藤議員

「年度による学力差や特定の領域での課題」とは。また、学力テストの結果を公表しない理由は。

A. 課題は、個人の学力

差や、活用問題、文章理解がほかより若干劣ることです。

国語と数学の2教科のみで行っており、それだけでは判断できないため、公表は控えています。

Q. 学力が高い先進地に

教員を派遣しては。

A. 27年度予算を増額し、

対応していきます。

一人当たりの教育費は

Q. 近藤議員

ある自治体では生徒1人当たりの教育費は全道市町村平均の2・5倍に当たる95万円。鷹栖はいくらか。

A. 小学校は約44万円、

中学校は約24万円ですが、

全道平均は上回っています。色々な形で子どもたちに多く投資できるよう努力していきます。

スクールカウンセラー

Q. 坂根議員

「子ども教育相談室」とスクールカウンセラー配置の実績と効果は。

A. 26年度、相談室には

7件、中学校のスクールカウンセラーへの相談は53件です。保護者からの相談もあり、親切な対応が喜ばれています。

Q. 近藤議員

スクールカウンセラーは教員との情報交換、子どもとの個別相談で年間30日の

出勤とのことだが、もう少し予算を増やして前向きに取り組んでは。

A. 予算の関係もありま

すが、色々な形で相談して進めたいと思います。

インターネットの危険回避指導は

Q. 坂根議員

「メールやインターネットの情報モラルや危険を予測、回避する力をつける」とあるが、内容は。

A. 授業の中で

の指導や、警察等も監視していることを教え、危険なサイトに入らないよう繰り返し周知徹底していきます。

Q. 大石議員

サイバーパトロールの専



新しいパソコン（中学校）

門チームから指導を仰いで

A. 道教委が北海道警察

に委託して監視している。年4回ほど各学校をチェックし情報は共有しています。

新聞の定期購読

Q. 中村議員

中学校で新聞の定期購読を行うとあるが、どの新聞か。

A. 北海道新聞と、もう

1つは学校と相談して決めます。

学習支援員

Q. 大石議員

学習支援員2名体制で、きめ細やかな個別指導ができるのか。

A. 各学校に配置しており、授業に遅れ感のある

子どもに対し、基礎・基本をしつかり教えています。

土曜学習

Q. 近藤議員

学力向上や社会経験に、土曜授業は取り入れられないか。保護者に対するアン

ケートをとっては。

A. 中学校は放課後に復習授業をしている科目もあり、長期休暇中も学校で勉強していますので、今のところ土曜授業は考えていません。保護者へのアンケートは今後考えていきます。

道徳教育

Q. 近藤議員

道徳教育が平成29年度から必須科目となるが、先立った独自の検討は。

A. 普段の教育活動は全て道徳活動と思っておりますが、今後、学校とも相談し



給食風景

ながら、心を育てる活動を進めます。

スポーツ推進

Q. 青野議員

子どもたちの成長に合わせた用具の整備状況は。

A. 個人の持ち物に対しては補助できませんが、共有して使えるものについては部活の経費を増額するなどの支援をしています。

Q. 木下議員

要らなくなった用具を教育委員会が窓口となって町民から集め、それを還元できないか。

A. 以前行った時は、古いものも多く、あまりうまくいかなかった経過もあります。PTAなどが中心になって再利用をすすめていただければ、協力は惜しみません。

食育

Q. 青野議員

健康や体作りなど、家庭との情報交換が必要では。

A. 今後も保護者や学校とも連携を取りながら、より良いものにしていきたいと考えています。

Q. 中村議員

給食に「オオカミの桃」を出せないか。鷹栖を出てから誇れるものをぜひ。

A. ジュースはかなりの量が必要とするため出せませんが、ソースなどには使っています。生産量が増えたらぜひ使用したいと思っています。

図書システム

Q. 片山議員

公民館の図書室に図書システムを導入するが、利用目標数は。

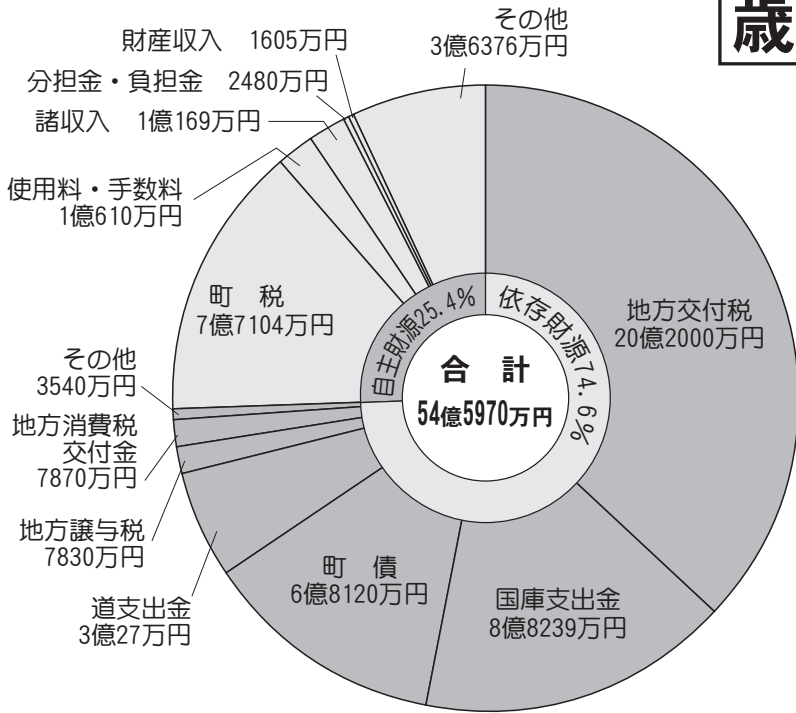
A. 数値は考えていませんが、25年度より司書が入って5000冊ほど利用が増えており、手作業では大変なため、システムを導入します。

まちづくり

定例会 2 日目の 3 月 11 日、新年度予算についての提案説明を受けました。

審査は、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、16 日に、予算計上されている事業などについての質疑を行い、原案のとおり可決しました。

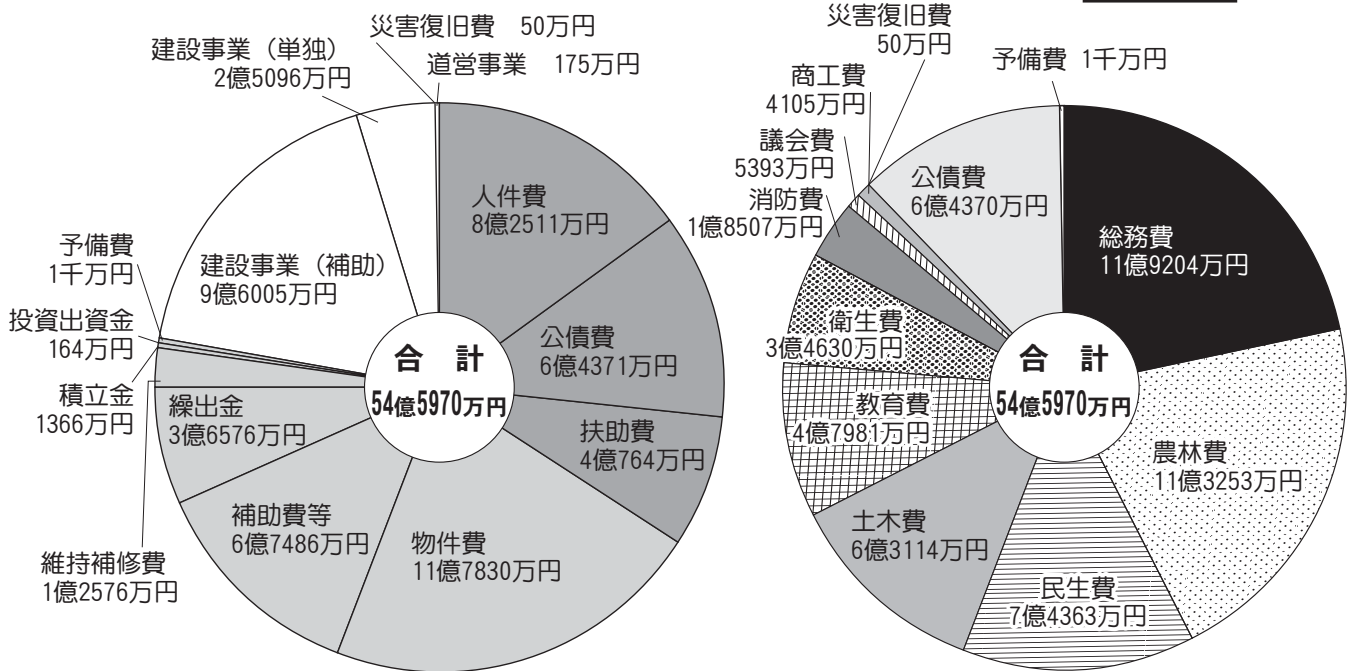
歳入



自主財源…
町が自主的に収入とすることができるお金

依存財源…
国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)

歳出



性質別

目的別